

- 問1 8世紀の日本において、律令国家の体制を整える一環として、唐の都である長安を模範に現在の奈良市に造営された都を何といいますか。 (2020年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 難波京 2. 藤原京 3. 平安京 4. 平城京
- 問2 奈良時代の日本は、大陸の進んだ文化や仏教の經典を取り入れるために遣唐使を派遣しました。遣唐使が唐の都である長安に向かうための経路において、初期は九州から朝鮮半島の西沿岸を北上して進む「北路」が一般的でしたが、のちに東シナ海を直接横断して揚州方面へと向かうようになった経路の名称を答えなさい。 (2016年 山口県公立入試 類似)
1. シルクロード 2. 南海路 3. 東山道 4. 南路
- 問3 万葉集の編纂に深く関わったとされる人物は誰ですか。この人物自身の歌も多く収録されており、また和歌集全体としては、柿本人麻呂が現在の香川県坂出市に立ち寄って詠んだ歌など、全国各地を舞台とした作品が収められています。 (2020年 鳥取県公立入試 類似)
1. 藤原定家 2. 大伴家持 3. 紀貫之 4. 山上憶良
- 問4 奈良時代、律令国家の体制が整えられる中で編纂された、日本の神話や伝承、歴史を記録した歴史書の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2026年 新潟県公立入試 類似)
1. 万葉集・風土記 2. 源氏物語・枕草子 3. 古事記・日本書紀 4. 平家物語・太平記
- 問5 大宝律令が制定された飛鳥時代後半から奈良時代にかけて、律令国家は戸籍に基づいて人々に土地を割り当てました。班田収授法により、6歳以上の男女に与えられ、その人が亡くなると国に返還することとされた耕作地を何といいますか。 (2016年 静岡県公立入試 類似)
1. 名田 2. 荘園 3. 口分田 4. 墾田
- 問6 古代日本の租税制度のうち、班田収授法との関わりが最も深い「租」の仕組みや特徴を説明したものとして、正しいものはどれですか。 (2019年 大阪府公立入試 類似)
1. 絹や布、糸といった各地の特産品を、都まで運んで納める負担。 2. 口分田を与えられた民衆が、収穫した稲の一部を地方の国庫に納める負担。 3. 国司の命令により、土木工事などのために年間60日を限度として働く負担。 4. 都での労役の代わりに、麻布などを都まで運んで納める負担。
- 問7 遣唐使の航路は、当初朝鮮半島沿岸を通る安全な「北路」が使われていましたが、やがて東シナ海を横断する危険な「南路」へと変更されました。航路が変更された背景に関する説明として最も適切なものを選びなさい。 (2021年 宮崎県公立入試 類似)
1. 新羅が日本に対して友好の証として東シナ海の新しい航路を譲渡したため。 2. 唐の都が東シナ海沿岸に移転したことで、南路を利用する方が便利になったため。 3. 日本が唐や新羅と対立したことで、朝鮮半島沿岸の安全な航路を通行できなくなったため。 4. 大型船の造船技術が向上し、東シナ海を横断する方が安全で短時間で到達できたため。
- 問8 奈良時代、律令に基づいた政治が進められる中、遣唐使の要請を受けて日本を訪れ、唐招提寺を建立した人物は誰ですか。中央を南北に貫く朱雀大路や、官営の市場である東市・西市が整備された平城京の時代を背景に選んでください。 (2019年 秋田県公立入試 類似)
1. 平将門 2. 鑑真 3. 天智天皇 4. 藤原清衡
- 問9 律令制のもと、班田収授の法によって人々に与えられた口分田の面積に応じて、収穫した稲の約3パーセントを納めることとされた税の名称を選びなさい。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
1. 庸 2. 調 3. 雑徭 4. 租
- 問10 白村江の戦いでの敗戦が、その後の日本の対外関係や文化交流に与えた影響についての記述として最も適切なものを選びなさい。 (2021年 宮崎県公立入試 類似)
1. 唐との国交が完全に断絶したため、遣唐使の派遣そのものが廃止され鑑真らの来日も阻止された。 2. 新羅が日本を支配下においたため、遣唐使は新羅の許可なしに航行することができなくなった。 3. 朝鮮半島での影響力を強めた日本は、北路と南路の両方を自由に使い分けて遣唐使を派遣した。 4. 唐や新羅との関係悪化により安全な北路が使えなくなり、遣唐使は危険な南路を通ることを余儀なくされた。
- 問11 奈良時代の文化的な特色を示す記述として、適切なものはどれですか。当時の社会状況や、日本最古の和歌集である『万葉集』の内容を踏まえて答えなさい。 (2026年 島根県公立入試 類似)
1. 遣唐使の廃止によって生まれた国風文化の流れを汲み、ひらがなを用いた和歌が流行した 2. 醍醐天皇の命によって編纂された最初の勅撰和歌集であり、繊細で優美な歌風が重んじられた 3. 漢字の音や訓を借りた万葉仮名を用い、農民や防人の歌を収録するなど素朴で力強い特色がある 4. 後鳥羽上皇の命で編纂され、藤原定家らによって象徴的な美しさを追求した歌が収められた
- 問12 奈良時代、聖武天皇は社会の混乱を鎮めるために、仏教の力で国家を守ろうとする「鎮護国家」の思想に基づいた政策を推進しました。この政策に関する当時の社会背景と具体的な取り組みの説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2018年 神奈川県公立入試 類似)
1. 遣唐使の廃止に伴う独自の国風文化の発展を目指し、貴族の邸宅に大規模な仏像を安置した。 2. キリスト教の伝来による思想的な対立を解消するため、新しい經典を全土に配布した。 3. 武士の台頭による戦乱を鎮めるため、地方の豪族に独自の寺院を建立させ、武器を回収した。 4. 天然痘の流行や政情不安を背景に、全国に国分寺・国分尼寺を建立し、東大寺に大仏を造立した。
- 問13 東大寺の正倉院に納められた宝物が、当時の西アジアやペルシアといった遠方の地域の特徴を持っている理由として、最も適切な説明はどれか。 (2016年 東京都公立入試 類似)
1. モンゴル帝国がユーラシア大陸を支配したことで、東の果てにある日本とも陸路での安全な交易が可能になったため。 2. 当時の唐は広大な帝国であり、シルクロードを通じて世界中の文化が集まっており、日本は遣唐使を通じてそれらを吸収したため。 3. 聖武天皇が仏教を広めるためにシルクロードを自ら横断し、各地で収集した仏具や美術品を持ち帰ったため。 4. 日本がペルシアやインドと直接の通商条約を結び、定期的に商船が難波津や平城京へ来航していたため。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 平城京	710年に元明天皇によって遷都されたこの都は、唐の長安をモデルにした大規模な都市計画に基づいて造られました。東西と南北に走る道路によって碁盤の目のように区画されており、中央北端には天皇の住まいや官庁が集まる平城宮が置かれました。
問2	答え 4 南路	朝鮮半島の沿岸を進む北路に対し、東シナ海を横断して揚州方面へ向かう経路は南路と呼ばれます。新羅との関係悪化や、唐の文化をより迅速に取り入れる必要性から、航海技術が未熟で遭難の危険が高いにもかかわらず、奈良時代後半にはこの南路が主に利用されるようになりました。これにより、唐の最新の仏教文化や制度が日本へもたらされました。
問3	答え 2 大伴家持	万葉集は長い年月をかけて歌が収集されましたが、最終的なまとめ役として大伴家持が重要な役割を果たしたと考えられています。柿本人麻呂などの宮廷歌人から地方の歌まで幅広く収録されている点が、後の時代の天皇の命令によって編纂された「勅撰和歌集」とは異なる大きな特色です。選択肢の紀貫之は平安時代の『古今和歌集』、藤原定家は鎌倉時代の『新古今和歌集』の編纂者として知られています。
問4	答え 3 古事記・日本書紀	奈良時代には、国家としての正当性を示すために大規模な歴史書の編纂が行われました。天武天皇の発案から始まり、後に完成した『古事記』と、漢文で記された正史である『日本書紀』がその代表です。選択肢にある『源氏物語』などは平安時代の文学作品であり、歴史書ではありません。
問5	答え 3 口分田	律令制のもとでは、土地と人民は国家のものとする「公地公民」の原則がありました。班田収授法はこの原則に基づき、戸籍に登録された6歳以上の人人々に、その身分に応じて耕作地を貸し出し、死後は国に返還させる仕組みです。これにより、国家は安定した税（租）の徴収を目指しました。
問6	答え 2 口分田を与えられた民衆が、収穫した稲の一部を地方の国庫に納める負担。	「租」は班田収授の制と密接に結びついており、政府から与えられた口分田という土地を課税対象としていました。これに対し、「調」は地方の特産物、「庸」は都での労役（歳役）の代わりの布、「雑徭」は地方での労働を指し、これらは土地ではなく人（成人男性）を主な対象として課された税であるという違いがあります。
問7	答え 3 日本が唐や新羅と対立したことで、朝鮮半島沿岸の安全な航路を通行できなくなったため。	白村江の戦いによって日本が唐・新羅の連合軍に敗れたことで両国との関係が悪化しました。その結果、朝鮮半島沿岸を通る安全な「北路」が使用できなくなり、危険な東シナ海を横断する「南路」をとらざるを得なくなりました。
問8	答え 2 鑑真	5度にわたる渡航の失敗や失明という困難を乗り越え、唐から来日しました。聖武天皇の招きに応じ、日本の僧侶に正しい規律を授ける役割を担いました。当時の平城京は唐の長安を模した計画都市であり、仏教の力を利用して国家の安定を図る「鎮護国家」の思想が強まっていました。
問9	答え 4 租	奈良時代に整えられた律令制では、6歳以上の男女に口分田を与える「班田収授の法」が運用されていました。この口分田という土地に対して課された税が「租」であり、収穫した稲を納める義務がありました。これに対し、庸や調は主に成人男性に課された負担です。
問10	答え 4 唐や新羅との関係悪化により安全な北路が使えなくなり、遣唐使は危険な南路を通ることを余儀なくされた。	白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗れた日本は、両国との関係が悪化したため朝鮮半島沿岸の「北路」を通れなくなりました。そのため、遭難の危険が高い東シナ海を横断する「南路」で遣唐使を派遣するようになり、鑑真の渡航難航などの試練につながりました。
問11	答え 3 漢字の音や訓を借りた万葉仮名を用い、農民や防人の歌を収録するなど素朴で力強い特色がある	『万葉集』は、まだ「かな文字」が発明されていない時代に、漢字の音や訓を用いて日本語を表記する「万葉仮名」で書かれました。防人歌（さきもりうた）や東歌（あずまうた）に代表されるように、名もなき民衆の歌が含まれていることが、平安時代以降の勅撰和歌集との大きな違いです。他の選択肢は平安時代以降の文化や勅撰和歌集（古今和歌集・新古今和歌集）の説明に該当します。
問12	答え 4 天然痘の流行や政情不安を背景に、全国に国分寺・国分尼寺を建立し、東大寺に大仏を造立した。	聖武天皇の時代には、天然痘の猛威による人口減少や、貴族間の激しい政争、飢饉といった深刻な社会不安が続いていました。このような危機的な状況を仏教の信仰によって克服し、国家の安定を図ろうとしたのが「鎮護国家」の思想です。この目的を達成するため、各令制国に国分寺・国分尼寺を置く制度を整え、その総本山として平城京の東大寺に巨大な盧舎那仏（大仏）を造立しました。
問13	答え 2 当時の唐は広大な帝国であり、シルクロードを通じて世界中の文化が集まっており、日本は遣唐使を通じてそれらを吸収したため。	奈良時代の文化が国際的な性格を持つ背景には、唐の都である長安が「シルクロードの終着点」として機能していたことが挙げられます。長安には西方から多様な文物が流入しており、日本は遣唐使を派遣して唐の優れた制度や文化とともに、間接的に西アジアやペルシアなどの工芸技術やデザインを取り入れました。モンゴル帝国の影響は鎌倉時代の元寇以降の時期に関する記述であり、時代が異なります。